

はじめの一步①

2013年7月27(土) ~ 28(日)

I N 西宮市立甲山キャンプ場

	午前	午後	夜
1日目	施設まで街中ハイキング	テント設営・野外炊飯	キャンプファイア
2日目	野外炊飯・川遊び	清掃・下山・解散	

一日目： はじめの一步は初めてお泊まりに挑戦という参加者も多く、集合場所にはこれからはじまるキャンプに緊張、不安、でもわくわく！といった表情の皆さんが集まりました。仁川駅で全員集合し、早速最初のプログラム甲山キャンプ場までのハイキングです。暑い日差しの中、ちらほら弱音も聞かれましたが、重い荷物を担ぎ懸命に前へ進みました。みんなの頑張りもあり、予定の時間よりも早くキャンプ場近くの公園に到着しました。お弁当パワーで疲れも吹っ飛んだのか、昼食を終えると友達と走り回ったり虫を探したりと元気いっぱいでした。午後からの仲間づくりゲームでは、野外炊飯でのスペシャル食材を賭けてグループ対抗戦を行いました。回を重ねるごとに会話や声かけが増え、グループの友達との距離がぐっと縮まっているように感じました。キャンプ場に到着するとみんなの気持ちはさらに高まり、「次、何するの?」「テントもう建てる?まだ?」と次々に質問が飛び交っていました。テントは苦戦しながらもグループで一張建て、嬉しそうに中でおしゃべりをしていました。その後のカレーづくりでは、かまど係・お米係・野菜係と自分で選んだ役割に一生懸命取り組み、自分たちだけのオリジナルカレーが完成しました。どこのグループも余すことなくペロリとたいらげ、すすで真っ黒な鍋や飯ごうも交代しながらピカピカに洗い上げていました。満腹になりゆっくり休みたいところですが、この日はまだまだプログラムが目白押しです。次は、キャンプファイア!歌に、ダンスに全身を使って楽しみました。終わる頃にはヘトヘト~といった様子でしたが、「一日目最後のプログラム、水あびするよ!」の声に再びテンションは最高潮!「冷たいけど、気持ちいい。」と言いながら、束の間の夜の川遊びを楽しみました。



二日目： 朝、起床時間ギリギリまでとても静かだったので、昨日の疲れが残っているのかなと心配しましたが、時間になるとテントから飛び出し準備に取り掛かっていました。朝食づくりでは、牛乳パックを使いホットドックを作ります。昨日の野外炊飯に比べると作り方は簡単ですが、その分手持無沙汰になりがちです。しかし、どこのグループも一人ひとりが自らできることを見つけ、取り組む姿がありました。片付けも協力して行い、次は待ちに待った川遊びです。一日目からとても楽しみにしていたようで、驚く程の速さで準備を済ませテントから出てきました。深いところでもみんなの膝ほどでしたが、どうにかこうにか泳いでみたり、生き物や不思議な形の枝を見つけたり、友達と水を掛け合ったりと、グループ以外の友達とも遊び楽しんでいました。時間いっぱい楽しんだ後は、二日間過ごしたキャンプ場の清掃です。片付けは面倒だなという思いもあるのかなと見ていたのですが「テントたたむのもったいないなあ。」と少し寂しそうに片付ける姿や、「はやく終わったから他のグループ手伝ってもいい?」と尋ねる姿が印象的でした。昼食を食べ、行きと同じ道を歩いて仁川駅に戻ってきました。最後まで友達と励まし合う声が聞かれ、心が温かくなりました。



<キャンプ総括>

今回のキャンプは、キャンプのタイトルにあるように「一步踏み出そう!」を大切にしていました。初めてばかりの中で、できるようになった嬉しさ、うまくいかなかった悔しさ、様々な思いに気づくことができたのでは、と感じています。また「みんなで楽しもう」という思いが非常に強く、一日目のレクリエーションはグループ対抗戦でしたが、他のグループにもコツを教え、応援する姿が見られました。その素敵な思いがみんなに伝わり、一緒にやるって難しいな~と悩んでいたり、みんなの合言葉を決めたりと、自分たちで楽しい時間、空間をつくろうと行動する姿が印象的でした。気づいた思いを言葉や行動で表現したからこそ、友達に伝わりみんな楽しいキャンプをつくることができたのだと思います。(生本 ひろみ)